すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん
北信地区経済動向

2019
令和元年
9-20
No.565

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート

長野県　県鳥
ライチョウ(雷鳥)

これほど信州人に愛され、大切にされている鳥はいません。古くから山岳信仰者に神の鳥として崇められてきました。その遺伝子が残っていて、人を全く恐れない鳥になったそうです。
温暖化の影響から生息数が減っていますが、英知を結集し守り抜きたいもの。ちなみに英語名は「サンダーバード」ではありません。

■ 長野しんきん
月例調査レポート …… 2
■ 企業アンケート
人手不足 ③ …… 6
■ インタビュー
変革期の経営ビジョン …… 8
■ 北信濃　江戸時代の風景 (61) …… 10
善光寺地震で避難した御本尊

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます　長野信用金庫について

長野信用金庫

概　況　全産業

生産は3カ月ぶりの低下
前年同月比は2カ月連続の低下

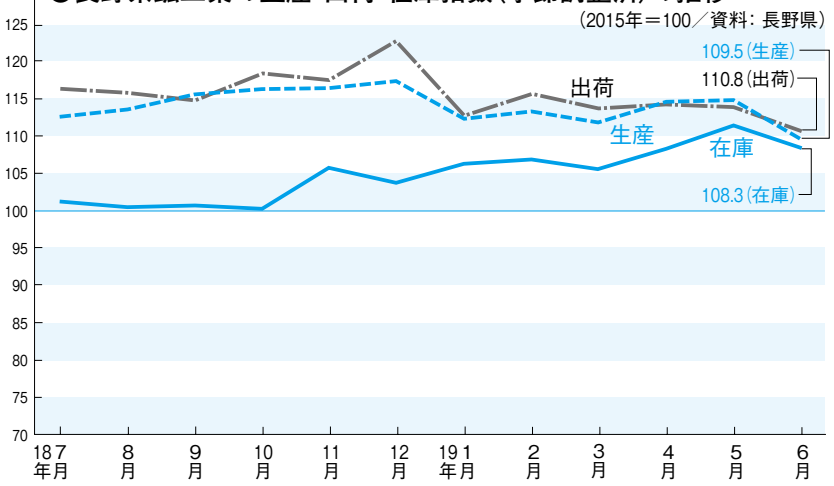
◇令和元年６月の長野県鉱工業指数
（速報：季節調整済指数）

生産は109.5（前月比▲4.7％）で３カ月ぶりの低下、出荷は110.8（同▲2.7％）で２カ月連続の低下、在庫は108.3（同▲2.7％）で３カ月ぶりの低下となりました。

◇前年同月比（原指数）

生産は112.3（前年同月比▲2.7％）で２カ月連続の低下、出荷は116.3（同▲4.8％）で６カ月連続の低下、在庫は107.3（同＋8.1％）で４カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数（季節調整済）の推移



［生産］上昇…木材・木製品、繊維、鉱業など３業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、食料品など14業種

［出荷］上昇…はん用・生産用・業務用機械、木材・木製品、繊維など３業種
低下…情報通信機械、輸送機械、電子部品・デバイスなど14業種

［在庫］上昇…その他、食料品、プラスチック製品など５業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など11業種

月例調査　全産業の「売上高」は増加

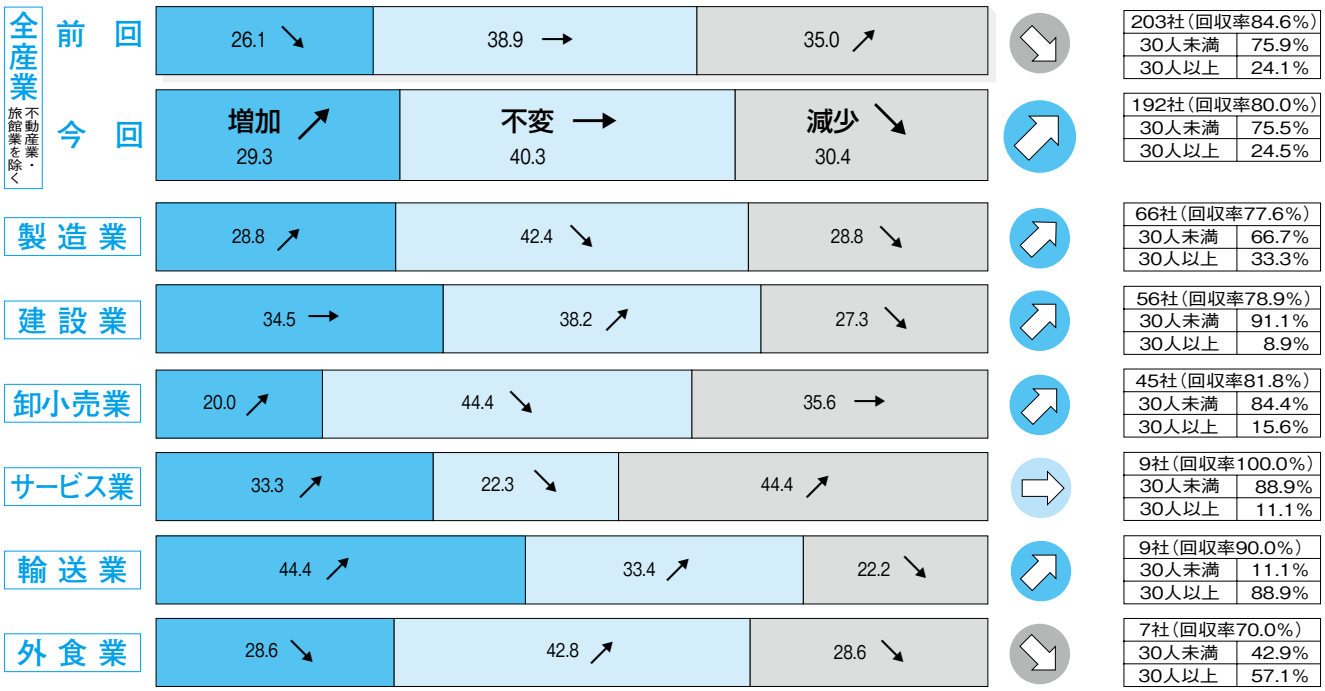
前回調査　2019年7月

◇８月調査による［北信地区の経済状況］

全産業（不動産業・旅館業除く）の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（29％）が３ポイント増加、「減少」割合（30％）が５ポイント減少、「不変」割合（40％）が１ポイント増加、全体としては増加の状況です。

●売上高〈生産高・施工高〉前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比（3ポイント以上の動き）　↗増加　→不変　↘減少　改善　不変　悪化

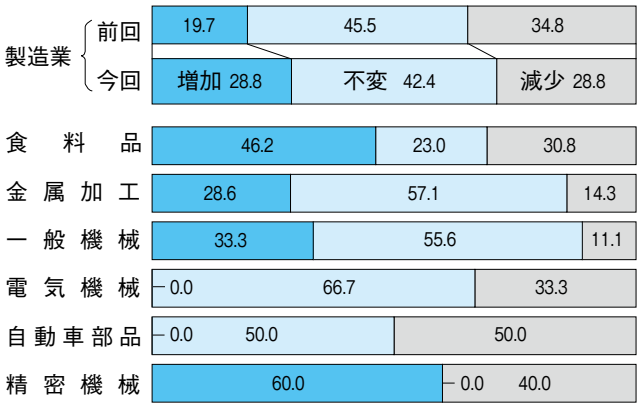


製造業　食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」電気機械が減少するも、全体は増加

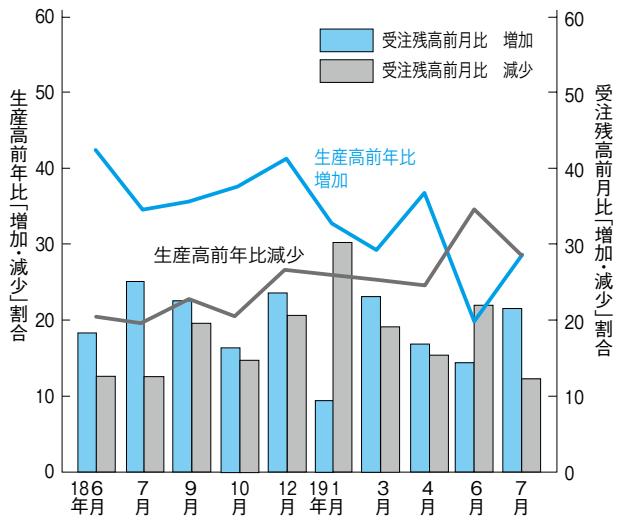
製造業の**生産高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（29％）が９ポイント増加、「減少」割合（29％）が６ポイント減少、「不変」割合（42％）が３ポイント減少し、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合（％）



［業種別］	増　加	……食料品･金属加工･一般機械･自動車部品･精密機械
	減　少	……電気機械
［機械稼働］	（前回比）稼働率	上昇
	上昇割合	（24％）→ 23％
	下降割合	（19％）→ 15％
［受注状況］	受注量（前回比）	増加
	増加割合	（14％）→ 22％
	減少割合	（22％）→ 12％
	受注残高	（1.4カ月）→ 1.3カ月
［受注基調］	（前回比）	上昇
	上昇割合	（20％）→ 26％
	下降割合	（23％）→ 15％

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移（％／資料:当金庫）



企業からのコメント

☆�雨が長引き心配していたが、７月は生産上昇で終えられた。“次の手”を打っていく。（そば製品）

★豚コレラの影響で、消毒や立入制限など防疫態勢が厳しくなってきている。（畜産関係器具）

★米中・日韓の貿易摩擦の影響が出始めている。（機械部品）

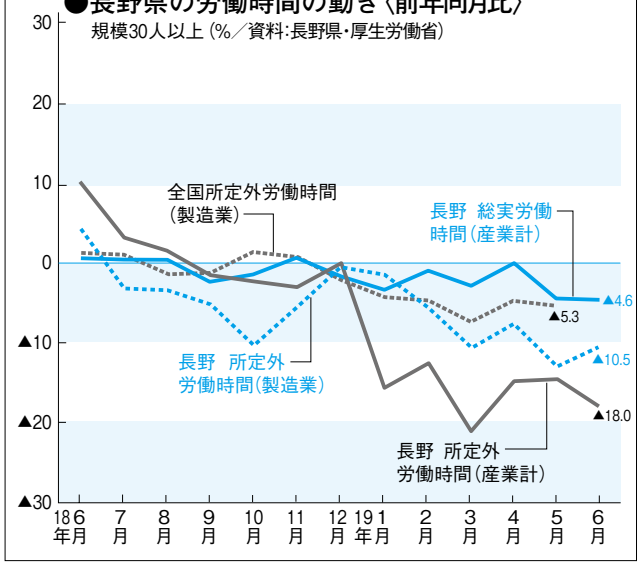
☆消費税がらみで、継続的に販売している製品の発注が増加している。（投影機器）

★５月・８月の大型連休で、製造もメンテナンスもストップした影響が大きい。（コンプレッサー）

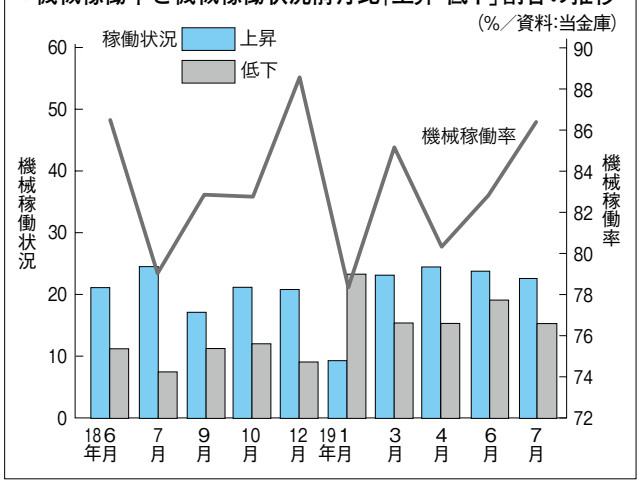
★半導体関連の受注は減少傾向にある。（制御盤・パソコン部品）

☆★この先世界は５Ｇや電気自動車へと進むことは間違いないが、いつまで続くか不透明。（半導体装置）

●長野県の労働時間の動き〈前年同月比〉



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移（％／資料:当金庫）



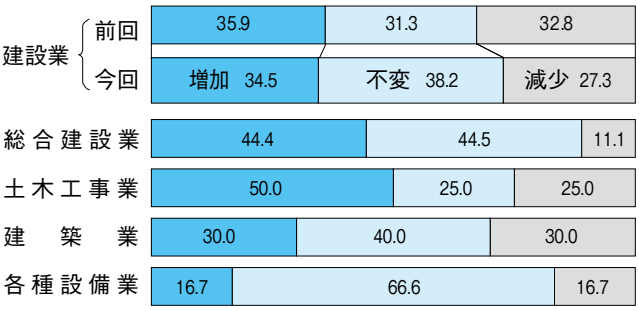
建　設　業　総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築が増加し、全体も増加

概　　況

建設業の**施工高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（35％）が１ポイント減少、「減少」割合（27％）が６ポイント減少、「不変」割合（38％）が７ポイント増加となり、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

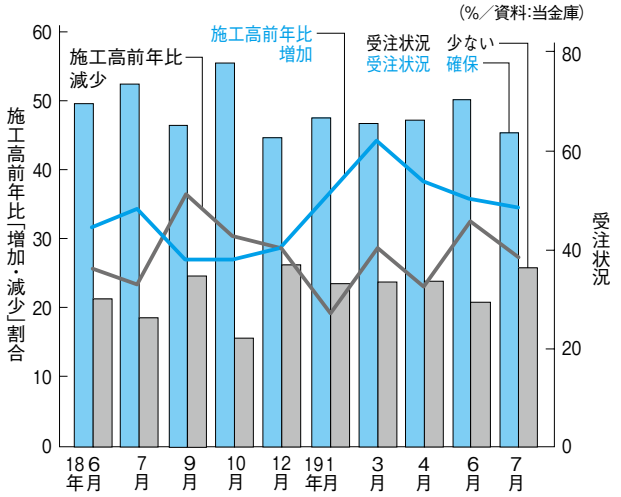


［業 種 別］　増　加…総合建設・建築
　　減　少…土木工事・各種設備

［受注状況］　受注残高（前回比）　悪化
　　「多い・適正」割合　（70％）　→ 64％
　　「少ない」割合　　（30％）　→ 36％

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移

(%／資料:当金庫)



企業からのコメント

★あと２カ月で消費税増税となると、駆け込み需要はもはやない。現状は先行き不透明。

★民間工事は、細かな改修工事はあるものの新築物件が少なく、苦慮している。　（以上総合建設）

★☆県内は工事量・引き合いとも少なく、単価は下落傾向。首都圏・北関東・北陸方面に営業展開を推進していく。　（内装）

４～７月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の４～７月の発注合計は、946.1億円（前年同期比＋13.5％）となりました。前年比プラスは「国」の177.1億円（同＋0.7％）、「県」の297.2億円（同＋88.5％）、「市町村」の284.8億円（同＋4.8％）で、マイナスは「そのほか」の183.5億円（同▲19.4％）です。

北信地区市町村の発注合計は81.3億円（同▲27.8％）で、うち長野市は36.3億円（同＋40.4％）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（2019年7月/2019年4月～7月累計）

（単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱）

		2019年7月	前年同月比	2019年4月～7月	前年同期比
長野県	国	2,674	28.9%	17,712	0.7%
	県	8,349	121.3%	29,717	88.5%
	市町村	6,319	29.9%	28,484	4.8%
	そのほか	7,601	1,015.9%	18,348	▲19.4%
	合　計	25,247	121.6%	94,614	13.5%
北信	市町村	1,675	23.1%	8,127	▲27.8%
	(内長野市)	900	▲5.4%	3,634	40.4%

４～7月の新設住宅着工戸数

長野県の４～７月の新設住宅着工戸数は4,911戸（前年同月比＋17.7％）でした。持家が2,760戸（同＋10.2％）、貸家が1,296戸（同＋11.8％）、分譲が851戸（同＋70.9％）、給与が４戸（同▲55.6％）です。

北信地区の４～７月の新設住宅着工戸数は1,444戸（同＋15.2％）でした。持家が799戸（同＋15.5％）、貸家が331戸（同▲12.9％）、分譲が314戸（同＋72.5％）、給与が０戸（――）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数（2019年7月/2019年4月～7月累計）　（資料:長野県）

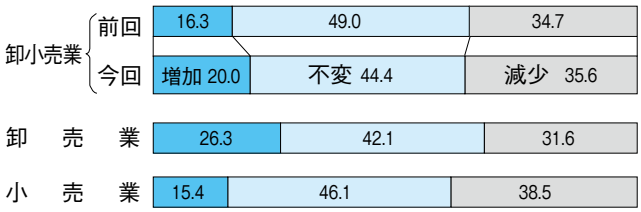
		持　家	貸　家	分　譲	給　与	合　計
北信地区	7月	183戸	34戸	93戸	0戸	310戸
	(内長野市)	104戸	25戸	79戸	0戸	208戸
	前年同月比	7.6%	▲58.0%	200.0%	――	9.9%
	(内長野市)	▲1.9%	▲51.0%	507.7%	――	22.4%
	4～7月	799戸	331戸	314戸	0戸	1,444戸
	前年同期比	15.5%	▲12.9%	72.5%	――	15.2%
長野県	7月	670戸	357戸	175戸	0戸	1,202戸
	前年同月比	1.8%	39.5%	73.3%	▲100.0%	18.2%
	4～7月	2,760戸	1,296戸	851戸	4戸	4,911戸
	前年同期比	10.2%	11.8%	70.9%	▲55.6%	17.7%

卸小売業　卸売業、小売業

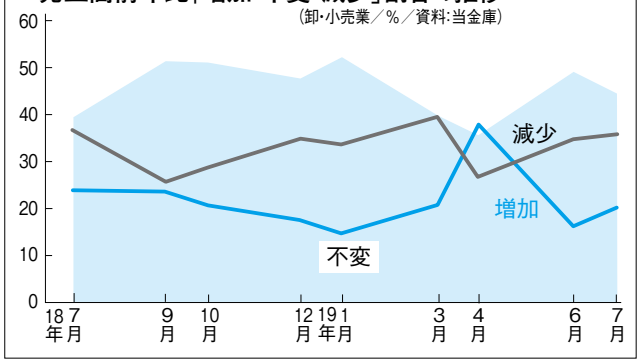
「売上高」卸売が増加し、全体も増加

卸小売業の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（20％）が４ポイント増加、「減少」割合（36％）が１ポイント増加、「不変」割合（44％）が５ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合（%）



●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移



［業 種 別］　増加…卸売業　減少…小売業

７月の消費者物価指数（長野市） 2015年基準＝100

◇総合指数（確報値）……102.4（34カ月連続のプラス）
（前月比±0％、前年同月比＋0.7％）
上昇…「食料品」「交通・通信」「住居」「保健医療」
下落…「被服及び履物」「家具・家事用品」「光熱・水道」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.3（31カ月連続のプラス）
（前月比▲0.1％、前年同月比＋0.8％）

企業からのコメント

★果物は霜の被害で出荷量が減少、味も悪い。野菜は８月に価格が下落、売上も伸びない。　（青果卸売）
★商圏人口の減少が続いており、その影響は客数の減少につながっている。　（スーパー）
★６月まで前年比ややアップが、７月以降は前年比ダウン。“年金＋２千万円”が原因か。　（土産品小売）
☆★10月の「消費税増税」が話題にのぼることが多くなってきた。　（自動車販売・整備）
☆★各種システム変更の業務くらいで、いま業績アップにつながる要因はない。　（建設機械小売）

サービス業　サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送は増加、サービスは横ばい、外食は減少

サービス業　売上高前年比「増加」割合は11ポイント増加の33％、「減少」割合は11ポイント増加の44％、「不変」割合は22ポイント減少の22％と、売上は横ばい状況です。

輸送業　売上高前年比「増加」割合は７ポイント増加の44％、「減少」割合は28ポイント減少の22％、「不変」割合は21ポイント増加の33％と、売上は増加の状況です。タクシー、運送ともに増加しています。

外食業　売上高前年比「増加」割合は29ポイント減少の29％、「減少」割合は14ポイント減少の29％、「不変」割合は43ポイント増加の43％と、売上は減少しています。

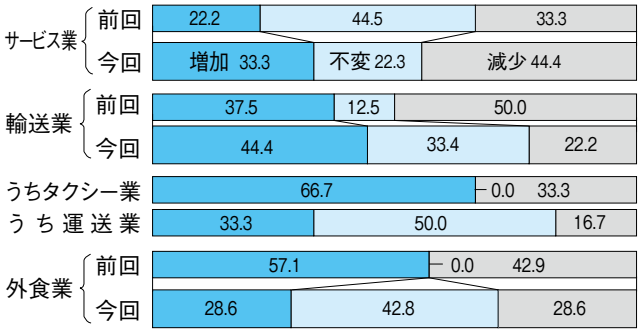
観光（旅館）業　入込数は平均で前月比91ポイントの増加、前年同月比は13ポイント減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業　需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は23ポイント増加の56％、「引合いやや増加」は横ばいの11％でした。

企業からのコメント

★☆７月中旬まで前年割れ。下旬以降は酷暑が続いたので、利用客は増加した。　（タクシー）
★７月の天候不順の影響などで、飲料をはじめとした流通関連の荷動きが悪い。　（トラック運輸）
☆ＴＶコマーシャルのイメージキャラクターを変更した効果から、売上が増加している。　（外食）
★合宿をはじめとした団体客の人数は減少傾向にある。　（ホテル）

●売上高前年比「増加・減少」割合（%）



企業アンケート　**人手不足** ③　2019年６月調査

●人手不足の原因

1位「人口減少による労働者の減少」65%
2位「労働者の高齢化」43%　3位「若者の離職率の高さ」29%

人手不足の原因　３分の２の企業が「人口減少による労働者の減少」をあげ、「労働者の高齢化」が４割強、「若者の離職率の高さ」が３割弱となりました。

「多様な働き方」の取組　４割台の「年休の取得促進」「長時間労働の削減」と３割台の「再雇用制度」がトップ３です。

人手不足の原因

◎30人未満
「熟練技術者軽視のツケ」18%

◎30人以上
「労働者の減少」74%
「労働者の高齢化」50%

業種別

製造「労働者の減少」72%
建設「労働者の高齢化」51%
卸小売「熟練技術者軽視のツケ」9%
サービス「労働条件の高度化」30%

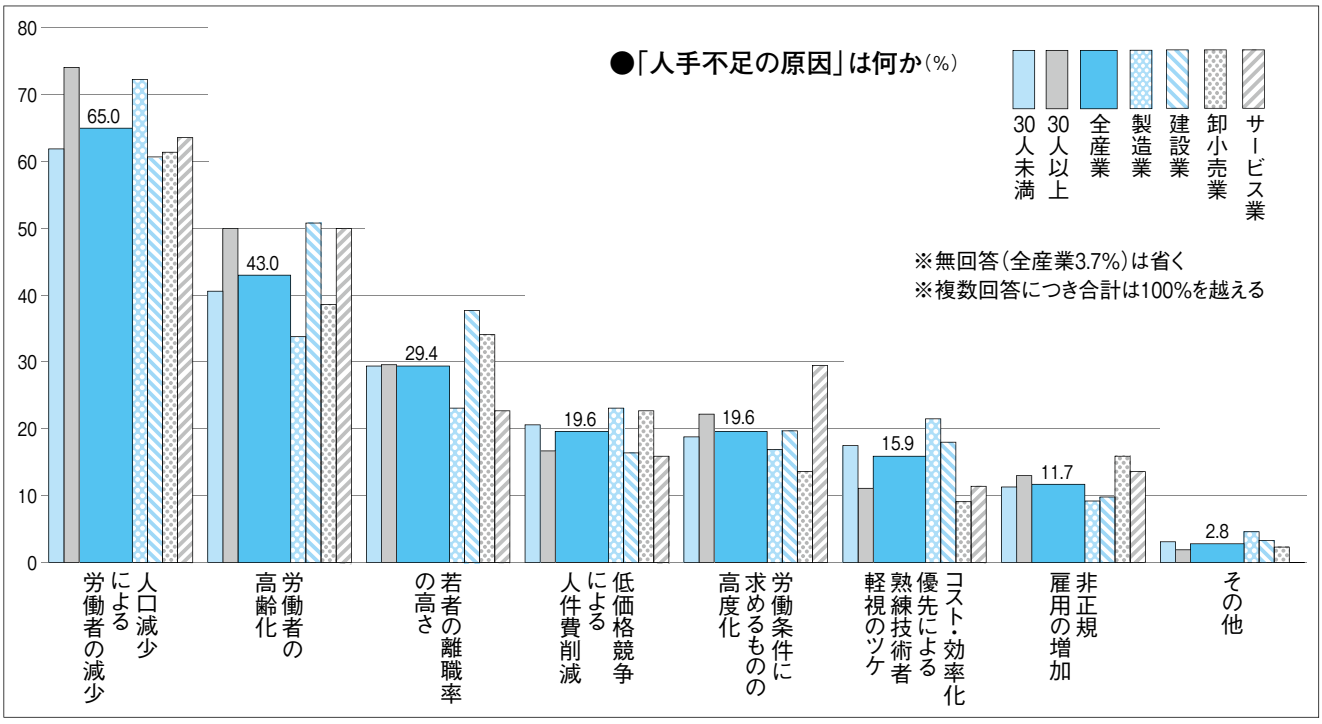
「『**人手不足の原因**』は何にあるか」を聞きました。

３分の２弱の企業が「人口減少による労働者の減少」(65%)をあげ、２位の「労働者の高齢化」が４割強(43%)、３位の「若者の離職率の高さ」が３割弱(29%)となりました。以下、「低価格競争による人件費削減」(20%)、「労働条件に求めるものの高度化」(20%)、「コスト・効率化優先による熟練技術者軽視のツケ」(16%)、「非正規雇用の増加」(12%)が２ケタとなりました。

従業員規模で比べると、30人未満は「熟練技術者軽視のツケ」(18%)が６ポイント、30人以上より高くなりました。30人以上は「労働者の減少」(74%)が12ポイント、「労働者の高齢化」(50%)が９ポイント、30人未満より高くなっています。

製造業　「労働者の減少」(72%)、「人件費削減」(23%)、「熟練技術者軽視のツケ」(22%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「労働者の高齢化」(34%)、「若者の離職率の高さ」(23%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業　「労働者の高齢化」(51%)が他業種に比べ最も高く、他方「労働者の減少」(61%)、「人件費



削減」(16%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「労働者の減少」(61%)、「労働条件の高度化」(14%)、「熟練技術者軽視のツケ」(9%)が他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業　「労働条件の高度化」(30%)が他業種に比べ最も高く、「労働者の高齢化」(50%)が建設業に次いで高くなりました。他方「若者の離職率の高さ」(23%)、「人件費削減」(16%)が他業種に比べ最も低くなっています。

「多様な働き方」の取組

「年休の取得促進」49%
「長時間労働の削減」43%
「再雇用制度」35%

「『**多様な働き方**』に関する取組で実施・検討しているものは何か」を聞きました。

4割台の「年休の取得促進」(49%)、「長時間労働の削減」(43%)と「再雇用制度」(35%)のトップ3のあと、「子育て・介護休暇制度」と「情報技術の活用」が「該当なし」とともに2ケタ(各15%)となりました。

従業員規模で比べると、30人未満は「該当なし」が30人以上より13ポイント高くなりました。30人以上は上位5項目が5～37ポイント、30人未満より高くなっています。

業種別

製造「**年休の取得促進**」60%
建設「**副業・兼業**」5%
卸小売「**情報技術の活用**」18%
サービス「**フレックスタイム制**」21%

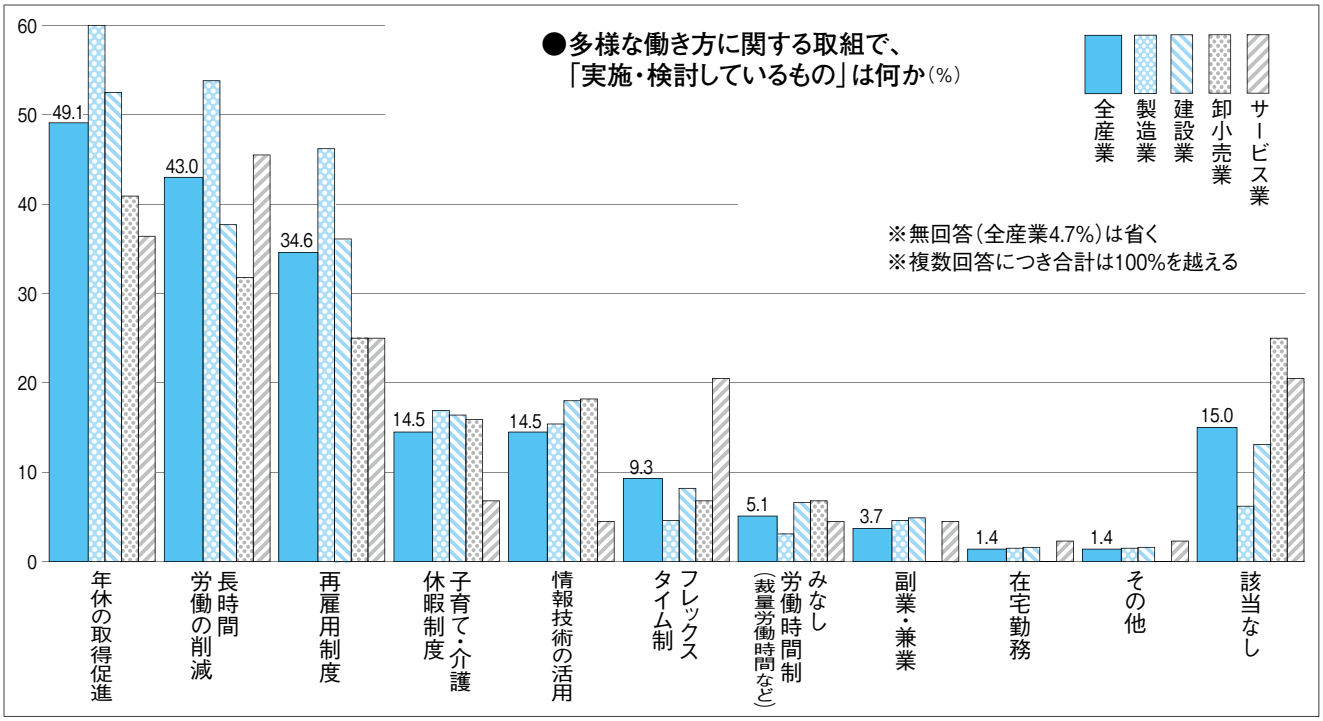
製造業　「年休の取得促進」(60%)、「長時間労働の削減」(54%)、「再雇用制度」(46%)、「子育て・介護休暇制度」(17%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「フレックスタイム制」(5%)、「みなし労働時間制(裁量労働時間など)」(3%)、「該当なし」(6%)が他業種に比べ最も低くなっています。

建設業　「副業・兼業」(5%)が他業種に比べ最も高くなりました。

卸小売業　「情報技術の活用」(18%)、「みなし労働時間制」(7%)、「該当なし」(25%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「長時間労働の削減」(32%)、「再雇用制度」(25%)、「副業・兼業」(0%)、「在宅勤務」(0%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業　「フレックスタイム制」(21%)、「在宅勤務」(2%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「年休の取得促進」(36%)、「再雇用制度」(25%)、「子育て・介護休暇制度」(7%)、「情報技術の活用」(5%)が他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は、「IT活用とキャッシュレス決済」に関するアンケートを予定



インタビュー　変革期の経営ビジョン

親子継承ではない、もう一つのかたちを創りたい

株式会社 山倉建設
代表取締役　和田明人さま

●設立の経緯から伺います…

当社は、昭和43年に山口信秋（現会長）の父、山口恵寿美が創業。創業当初は下請業者として舗装工事などの土木工事を施工。その後、公共事業の元請業者として実績を積上げてきました。

現会長が社長に就任すると、最先端の技術を導入するなど新しいことにチャレンジされました。その精神は現在も生き続けています。

●社長になられた経緯は…

私は学校を卒業後、ほかの建設会社の現場代理人として就職。平成７年に父が経営していた㈱マルワ信濃土建に入社し、23年に代表に就任しました。

その翌年に、㈱山倉建設の山口現会長から「うちの会社の代表をやってくれないか」という話があったのですが、私は自分の能力をわかっていたのでお断りしました。しかし、何度かお話を伺っているうち、前向きな考えが芽生え、引き受ける決断をしました。

迷った理由は、企業買収はよくありますが、小さな規模の会社の代表が大きい会社の代表になることはあまり前例がなく、後継者問題で悩む建設業業界では異例のことだったからです。

当初、マルワ信濃土建の社長を兼任しながら、山倉建設の専務取締役になって、“二足のわらじ”で業務に携わっていました。しかし、突然によくわからない人間が専務になり、社員の皆さんに理解されることは非常に難しく、悪戦苦闘しました。

それでも、しっかりサポートをしてくれる社員に助けられ、少しずつ会社にも慣れ４年後の28年に代表取締役に就任しました。

●業務内容についてお聞かせください…

当社は、公共工事をメインにしていますが、この業界は博奕（ばくえき）的な要素があり、入札で仕事の受注をします。１つの物件の入札者が多い時には約50社あり、そこから同額の会社35社ほどが“クジ引き”で落札者を決定します。

落札には大切な“２つの要素”があり、まずは「積算力」です。現在の入札制度では、設計価格が正確に積算出来ないとクジ引きの土俵にすら立てません。発注先によっては、積算の癖を見抜かないといけないこともあります。積算担当者は、新しい情報や過去の実績、見積価格などの精査に日ごろから努力しています。

２つ目は「入札制度」です。制度の中に“総合評価方式”があります。この制度は、配置予定となる技術者の保有資格や会社の施工実績、工事成績点、会社保有の資格など、指定されている要件を満たしていれば評価点が上がり、落札しやすくなります。ですから、社員の資格取得には全面的に会社がバックアップしています。

工程会議や内部監査では、工事成績点をより評価するお願いをしています。社員には負担があると思いますが、当社では工事成績点の高得点者と優良工事受賞者には、インセンティブの適応があります。少しでも社員のモチベーションが上がることが理想です。当社のような小さな会社が大手企業と戦うには、相当な努力と投資が必要だと思っています。

●現場の技術や機材に関して…

ここ数年、土木業界は技術革新が目覚ましく、国が推奨しているＩＣＴ（アイ・コンストラクション）技術の導入は、現場の生産性を向上させ、ＧＰＳの位置情報から、機械掘削で丁張（ちょうはり）（建物の位置や高さなどの基準を示す仮設物）を使用しない工法を実現しています。

また、測量は自動追尾型の測量機を使い、現場の測量をスムーズに行っています。ドローンも数年

前から導入し、空撮による静止画・動画を活用しています。近々、無人測量に挑戦したいと思っています。

ＰＣ環境は、RPA(ロボテック・プロセス・オートメーション)の検討、ＡＩ(人工知能)の導入への準備をしています。このように働く社員の労働時間短縮を目標に、さらなる「働き方改革」に対応したいと思います。

●守らなければならない業務と方向性…

当社は、道路を作ったり、法面(のりめん)を保護したり、水道管を新しくするなどの工事を受注しています。

また、除雪作業も大切な業務です。冬は工事の受注量を抑え、降雪に備えていますが、雪の少ない年は少し寂しく感じるのは事実です。主に市街地を受注していますが、少ないときは２回の出動で終了することもあります。もちろん営利団体ですから利益を追及しますが、地域貢献の思いもあって、出動回数の少ない路線も受けています。

冬季業務は、オペレーターを22人体制にしていますが、業界の就職不人気はとても深刻です。オペレーターを確保し続けることが大変ですが、継続していく大事な業務だと考えています。

●大切にされていることをお聞きかせください…

昔から「企業は人なり」といいますが、私にとって、社員は「会社の宝」だと思っています。いま、建設業業界に興味を持つ若者が激減し、人手不足は深刻です。当社のような小さな会社は、入社希望者が少なく、どのようにしたら、“魅力ある職場”を創れるのか、これからの大きな課題です。

社屋外観

当社では、社員全員に、お盆はビールかジュース、年末は肉と魚介類をプレゼントしています。これは、社員と支えてくれる家族への感謝の気持ちです。当社のホームページのトップにも“信州の優しい会社を目指して”と記載していますが、これからも社員への感謝の気持ちを忘れず共に歩んでいきたいと思います。

●最後に、今後の方針を…

今後の経営と未来に向けて、３代目となった私の社長人生は、決して平坦なものではありません。しかし、社員と役員や関係各位に支えられ、立向かう勇気とパワーをもらっています。私が経験した“親子継承”ではないかたちが、これからの建設業業界で、継承に悩む企業の参考になれば幸いです。

令和という時代に、会社とどのように向き合うか考えていますが、方向性や経営のビジョンは少しは見えています。今まで、先輩方が築いてくれた素晴らしい財産(業務内容)をしっかりと継承し、時代のニーズに合わせた新しい技術と向き合いながらチャレンジしていきます。

当然、地域に貢献出来る企業であるとともに、会社に関わる全ての人に優しい会社であり続けたいと思います。

●事業の概要

設　立　1968(昭43)年
資本金　2,000万円
代　表　和田　明人
従業員　15名(男12・女３)
業　務　建設業
事業所　長野市大字茂菅字境沢西11番地4
ＵＲＬ　http://www.yamakura-ken.com

●沿革

1968(昭43)年　有限会社山倉建設設立
1968(昭43)年　山口恵寿美が社長に就任
1977(昭52)年　株式会社山倉建設に組織変更
1997(平９)年　代表取締役に山口信秋が就任
1997(平９)年　特定建設業の許可取得
2016(平28)年　代表取締役に和田明人が就任

北信濃 江戸時代の風景

(61) 善光寺地震で避難した御本尊

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

本年度は、弘化４年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館本）の挿絵を用いています。善光寺地震は、３月24日の午後10時過ぎに発生しました。地震発生直後、善光寺は御本尊・前立本尊・御印文などを屋外に避難させました。今回は御本尊などが避難している様子を描いた図です。

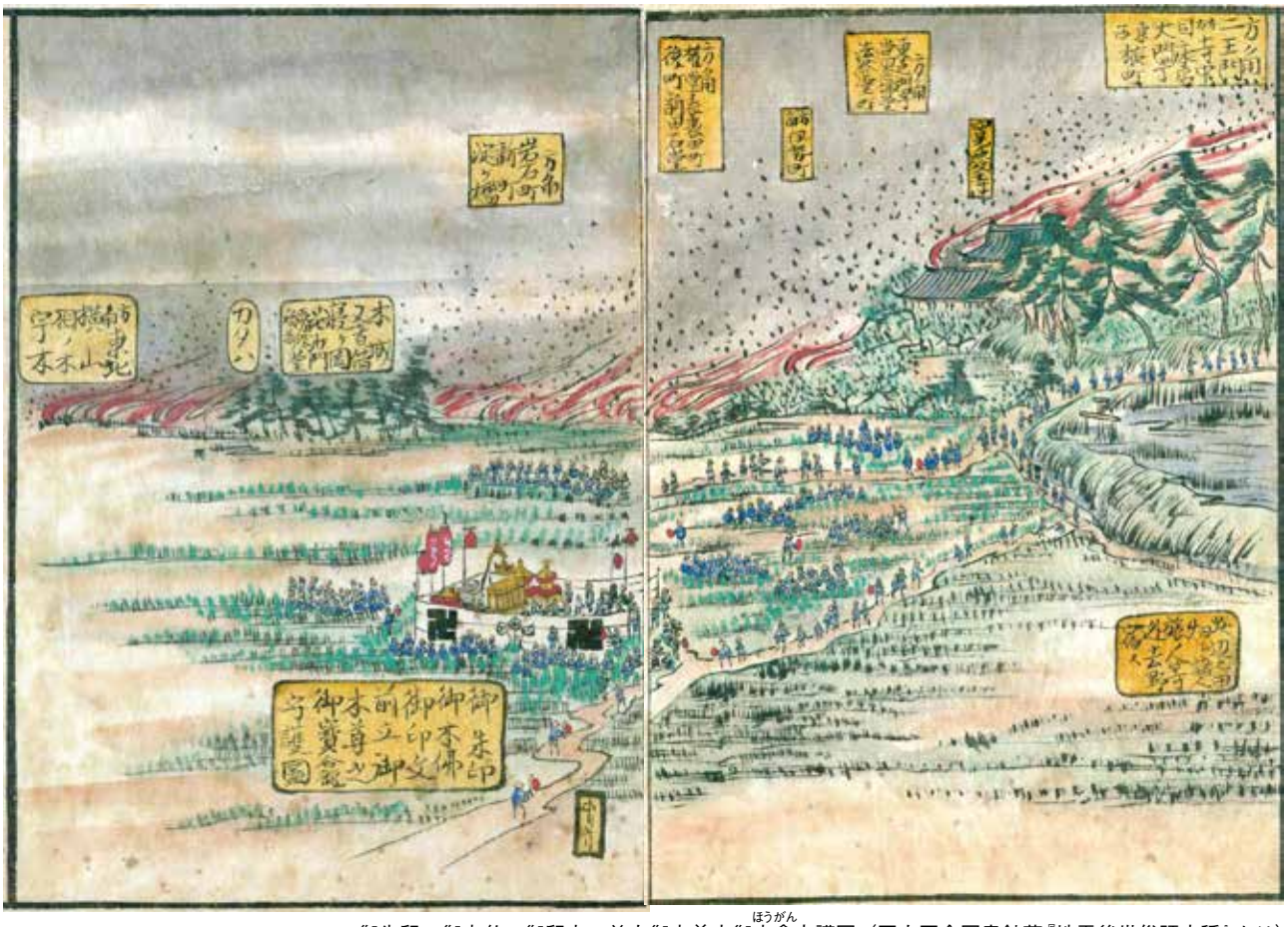
その夜の永井善左衛門

下の図をはじめとする『地震後世俗語之種』の挿絵を描いた永井善左衛門幸一は、権堂村の名主でした。地震の起きた３月24日は善光寺御開帳の最中です。善左衛門は御開帳の人出を当て込んで、境内の駒返り橋北の、参道西側に土産物店を出店していました。店の運営は、出入りの大工の庄五郎夫婦に任せてありました。

その夜、善左衛門は暮六つ(午後６時)過ぎに権堂の自宅で夕食を済ませ、家族とともに善光寺の出店にやって来ました。当時は夜の参詣が盛んで、境内は参詣者でにぎわっていました。

亥の刻(午後10時)を告げる時の鐘を聞いて、善左衛門は１人で本堂に参拝しました。地震が起こったのは、本堂から出ようとした時でした。「或は五間、又は三間、前後左右に押遣れ、引返され」という激しい振動で、死も覚悟しました。

幸いにも家族と再会できたので、出店から戸板などを持ち出して地面に敷き、その上にしばらく避難していました。町からは火災が発生し、仁王門も燃えています。このままでは危険だということで、善左衛門一家は善光寺本堂の脇に逃れ、さらには本堂北東の御供所の近くまでやって来ました。



御朱印、御本仏、御印文、前立御本尊之御宝龕守護図（国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より）

その時です。念仏の声とともに大勢の人々が近づいてきます。それは御本尊、前立本尊、御印文などの輿をかつぎ、避難させようとする一行でした。善左衛門たちもその後に従い、城山方面に避難して、そこで一夜を明かしました。

城山の三峰神社境内の地蔵菩薩と名号碑

絵を読む

善光寺の東側の、現在の城山公園付近です。左下に「御朱印、御本仏、御印文、前立御本尊之御宝龕守護図」とあって、野中に巡らせた幕の中に御本尊をはじめとするいくつもの厨子が見えます。幕には、善光寺の寺紋の立ち葵と卍が大きく描かれています。夜なので、提灯がいくつも高く掲げられています。

右下には「此辺之田畑江諸人旅人等逃去野宿ス」と書いてあります。現在の城山公園一帯は当時は田畑で、善光寺境内にいた人々はそこに避難して一夜を過ごしたのです。地震の起きた３月24日は、現在の５月８日に当たります。田畑の作物をさほど気にする必要はなかったことでしょう。

周囲の町々からは、すでに火の手が上がっています。その炎は夜空を明るくして、人々を恐怖に陥れました。右上に「方角、二王門、左右寺中、同床店、大門甲、東西横町」と書いてあります。「左右寺中」は、両側の宿坊です。「床店」は、現在の仲見世です。「横町」は東横町と西横町がありました。

「寛慶寺」にもすでに火が回っているようです。右端の池は善光寺背後の池で、現在の善光寺第３駐車場辺りです。今回は紹介しませんが、この右に続く絵があって、そこには善光寺本堂が描かれています。

「寛慶寺」の次には「方角、東之門甲、常念仏堂、法然堂町」「方角、伊勢町」「方角、表裏田町、後町、新田、石堂」と書かれています。「常念仏堂」は現在の城山小学校の位置にありました。「表田町」は現在の田町で、「裏田町」は現在の三輪田町です。

左側には「方角、岩石町、新町、淀ヶ橋」「本城又者借寝ヶ岡、毘沙門、愛染、稲荷堂」「カタハ」「方角東北、横山、相ノ木、宇木」と書いてあります。「借（仮）寝ヶ岡」は城山の別名です。「カタハ」（片端）は城山の東下の北国街道沿いです。

地蔵畑

善光寺地震の際に善光寺が避難した場所は、現在の城山公園ふれあい広場（旧長野市営球場）の北側の三峰神社付近です。地震のあった３月24日から５月17日まで、55日間の避難でした。しかも地震は御開帳中でしたから、４月29日まではここで御開帳が続けられました。

三峰神社の一角には石仏の地蔵菩薩がまつられ、裏にそのいわれを書いた名号碑があります。それによれば、善光寺がたまたま避難したこの場所は、元々地蔵畑と呼ばれていた上に、避難した24日は地蔵菩薩の縁日でした。これは地蔵菩薩が導いて守ってくださったからに違いないと、ここに地蔵菩薩を建立したというのです。

10月号は「鐘鋳川沿い」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます　長野信用金庫について

就業意識 ③ 生活者

●人手不足の原因

「労働者の減少」62%「若者の離職率の高さ」33%「労働者の高齢化」31%
「人件費削減」23%「非正規雇用の増加」21%「労働条件の高度化」20%

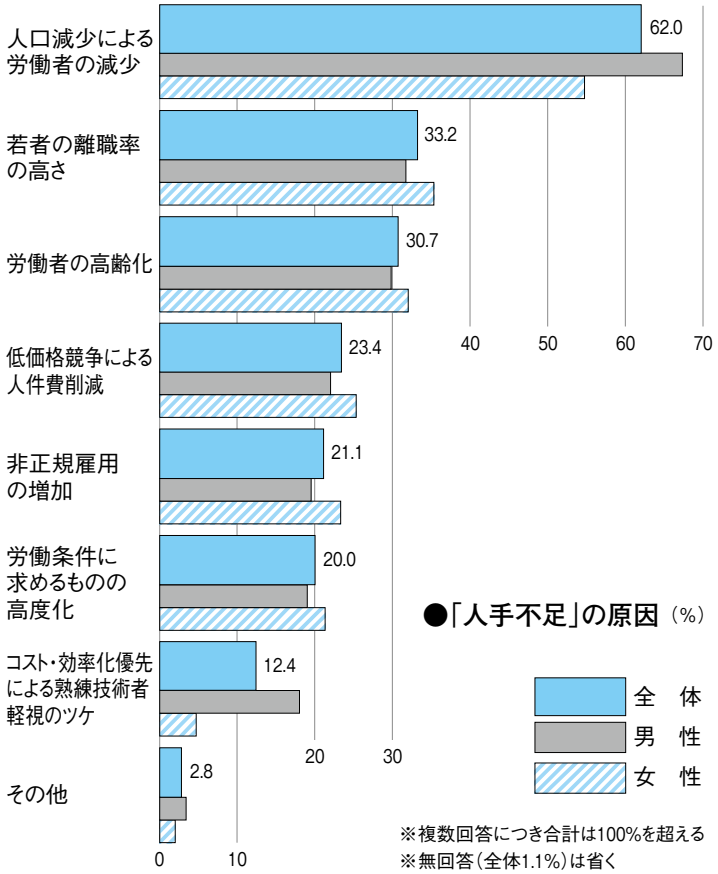
企業アンケートと同様に「**人手不足の原因**」を生活者に聞きました。

「人口減少による労働者の減少」が62%と圧倒的に高くなりました。「若者の離職率の高さ」「労働者の高齢化」が30%台、「低価格競争による人件費削減」「非正規雇用の増加」「労働条件に求めるものの高度化」が20%台、「コスト・効率化優先による熟練技術者軽視のツケ」が２ケタです。

世代別では、10～20代は「労働者の高齢化」がやや高くなっています。30～40代は「労働者の減少」と「労働条件に求めるものの高度化」がやや高くなりました。50代以上は「非正規雇用の増加」がやや高くなっています。

男女別では、男性は「労働者の減少」「熟練技術者軽視のツケ」が高くなりました。女性は逆に「労働者の減少」「熟練技術者軽視のツケ」が低くなっています。

〈当金庫・2019年６月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内［10月］

（注）上の店名は開催場所、下の（　）内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
10月 2日	水	若槻支店（城北支店）	東長野支店（柳原支店）	10月18日	金	石堂支店（伊勢宮支店）	七瀬支店（南支店）
4日	金	稲荷山支店（屋代支店）	上山田支店（戸倉支店・坂城支店）	23日	水	篠ノ井支店（川柳支店）	松代支店（更北支店）
7日	月	須坂支店（墨坂支店・太子町支店）	豊野支店	24日	木	大門町支店（桜枝町支店）	飯綱支店
9日	水	長池支店（大豆島支店）		28日	月	本店営業部	古里支店（吉田支店）
11日	金	中野支店（小布施支店）	山ノ内支店（飯山支店）	29日	火	本部	
16日	水	権堂支店（善光寺下支店）	川中島支店（川中島駅前支店）	30日	水	本部	

●10月の「しんきん事業相談会」は10月２日㈬です

長野信用金庫　総合企画部
本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹
長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/